

【付帯事項】

健康への悪影響の実数を推定する ための新たな疫学情報収集システム の必要性と参照例

平成11年度厚生科学研究

輸入食品媒介感染症に対する研究

分担研究報告書

諸外国における食品媒介感染症に対する調査の研究

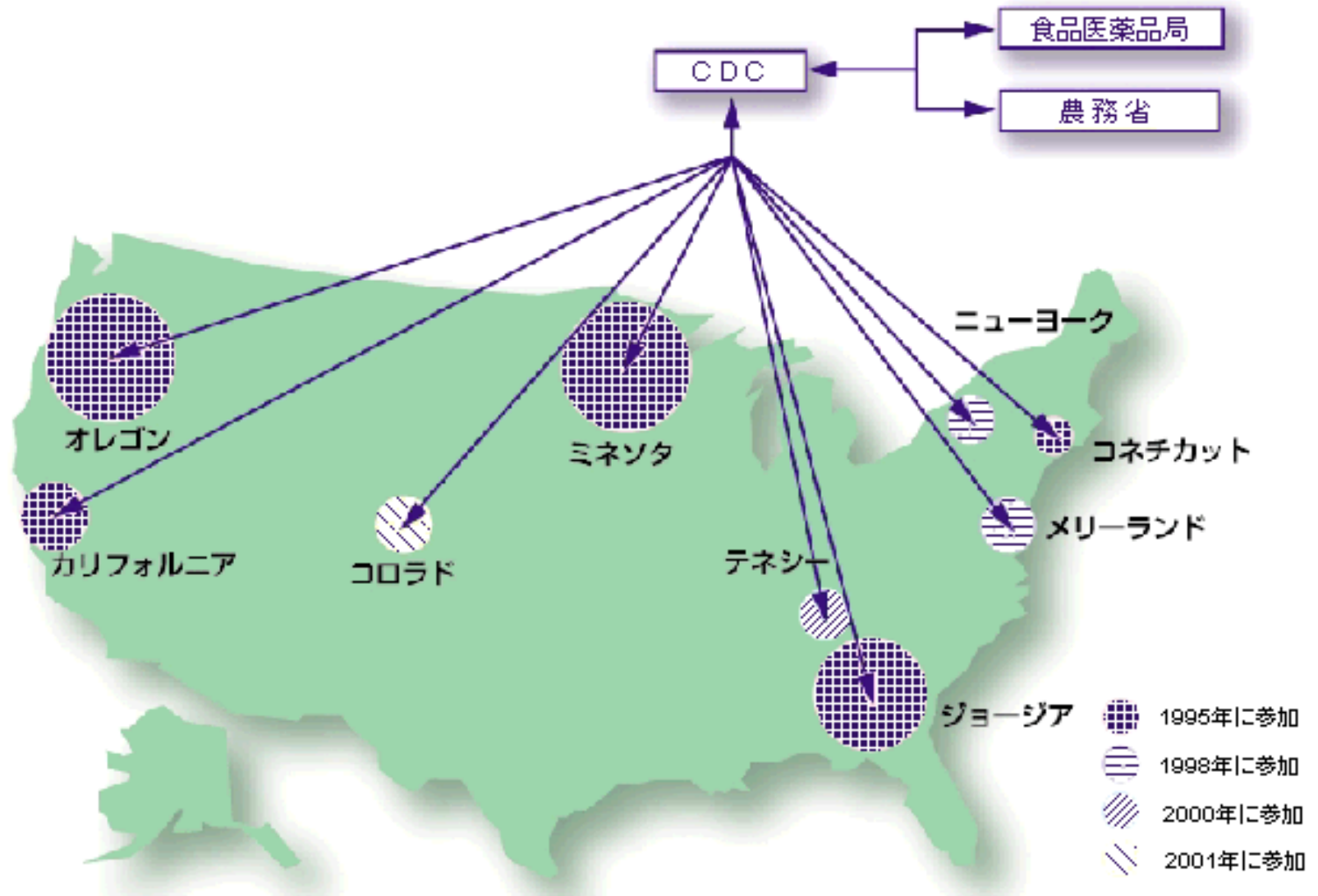
分担研究者 仙台検疫所長 岩崎恵美子

より引用

Foodborne Disease Active Surveillance Network (FoodNet)

- 米国において、受動的サーベイランスシステムに加え、発症からCDCへの報告に至るまで全ての段階からデータを集めて分析し、調査及び監視を行う能動的サーベイランスシステム
- 食品媒介感染症として認識されていない感染症の掘り起こしを行うことも可能にする
- CDC、参加9州、FDA及びUSDAとの共同プロジェクト
- 1995年に5州から開始し、現在対象となっている地域の人口は米国総人口の10%に相当

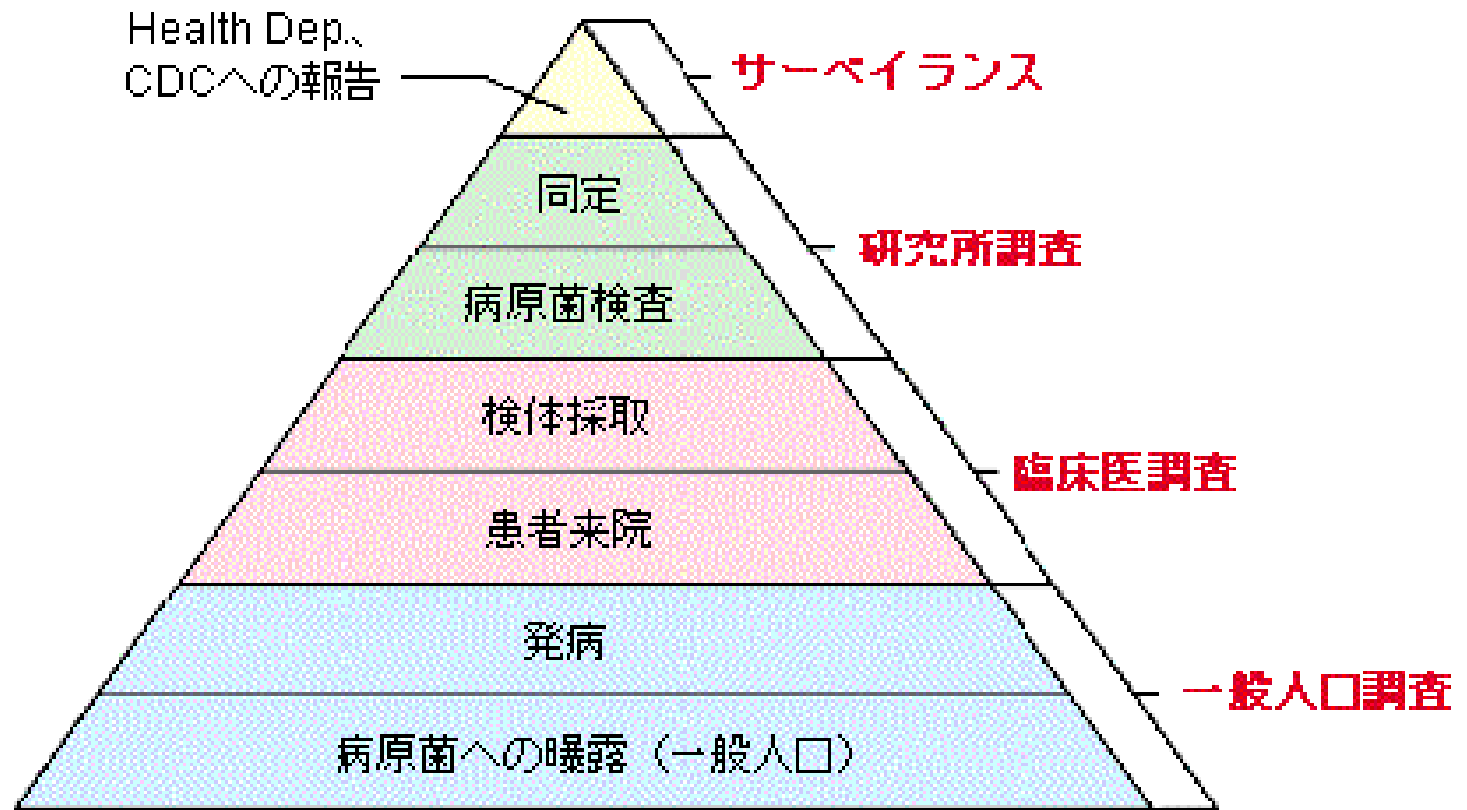
FoodNet組織概要



FoodNetの目的

- 新興の細菌性、寄生虫性およびウイルス性の食品媒介病原体の疫学の解明
- 米国における食品媒介感染症の発現頻度および重症度の年次統計の作成
- 食品媒介感染症症例中、肉、鳥、卵などの特定の食品に起因する感染症の占める割合の算出

FoodNet構成コンポーネントならびに 感染症の荷重ピラミッド



ケースコントロールスタディ

- 食品媒介感染症における特定の食材または調理法および管理の関与の実態を把握する目的で、FoodNetの一つのシステムとして実施される疫学試験
- 実際の症例におけるこれらの割合を把握することで、対象を限定した予防活動をより効果的に行うことを可能にする